

リコンビナント **E.coli**由来のジアフォラーゼ22

Cat. No. NATE-1938

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

E. coli 由来の組換えジアフォラーゼ 2.2は、レドックス反応と酵素活性に関する高度な研究に最適です。生化学および分子生物学の研究に理想的です。Creative Enzymesは、高純度で信頼性のあるソリューションを提供します。

別名

LDP-Glc; LDP-Val; 脱水リポ酸脱水素酵素; ジアフォラーゼ; ジヒドロリポアミン脱水素酵素; ジヒドロリポアミン:NAD+ 酸化還元酵素; ジヒドロリポ酸脱水素酵素; ジヒドロチオクト酸脱水素酵素; リポアミン脱水素酵素 (NADH); リポアミン酸化還元酵素 (NADH); リポアミン還元酵素; リポアミン還元酵素 (NADH); リポ酸脱水素酵素; リポ酸脱水素酵素; リポイル脱水素酵素; タンパク質-6-N-(ジヒドロリポイル)リジン:NAD+ 酸化還元酵素

製品情報

由来

大腸菌

形態

凍結乾燥された

EC番号

EC 1.8.1.4

CAS登録番号

9001-18-7

分子量

ca. 110,000

活性

>150 U/mg タンパク質

混入物

(ジアフォラーゼ活性 = 100 %) アデニル酸キナーゼ < 0.01 % NADHオキシダーゼ < 0.20 %

pH安定性

6.0 – 9.0

最適pH

8

熱安定性

70 °Cまでの活動の減少は認められません。

ミカエリス定数

(50 mM HEPESバッファー、pH 7.0、30 °Cにて) 3-(4,5-ジメチル-2-チアゾリル)-2,5-ジフェニル-2H-テトラゾリウムプロマイド (MTT) 0.345 mM NADH 0.033 mM

単位定義

1単位の活性は、30°Cで1分あたり1μmolのNAD+を生成するジアフォラーゼの量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法

-20°Cで保管してください